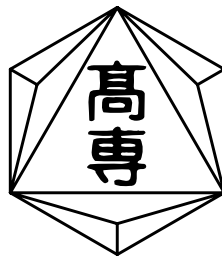


令和7年度

入学者募集要項 入学案内



独立行政法人 国立高等専門学校機構

群馬工業高等専門学校

〒371-8530 群馬県前橋市烏羽町580番地

TEL 027-254-9060 (学生課教務係)

FAX 027-254-9080 (学生課)

国立高等専門学校機構 URL : <https://www.kosen-k.go.jp/>

群馬工業高等専門学校 URL : <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

令和 7 年度群馬工業高等専門学校入学者選抜実施日程

推 薦	Web 出 願 登 録 期 間	令和 6 年 12 月 9 日(月)～令和 7 年 1 月 7 日(火)
	出 願 書 類 受 付 期 間	令和 7 年 1 月 6 日(月)～令和 7 年 1 月 7 日(火)
	面 接 実 施 日	令和 7 年 1 月 16 日(木)(予備日：令和 7 年 1 月 17 日(金))
	推 薦 合 格 内 定 通 知 日	令和 7 年 1 月 21 日(火)
	入 学 確 約 書 提 出 日	出願時
一 般 ・ 帰国子女特別	Web 出 願 登 録 期 間	令和 7 年 1 月 8 日(水)～ 1 月 22 日(水)
	出 願 書 類 受 付 期 間	令和 7 年 1 月 21 日(火)～ 1 月 22 日(水)
	学 力 検 査 日	令和 7 年 2 月 9 日(日)
	入 学 確 約 書 提 出 日	単願：出願時 併願：令和 7 年 3 月 7 日(金)
合格者発表日(推薦、一般、帰国子女特別)		令和 7 年 2 月 13 日(木)
入 学 手 続 関 係 書 類 交 付 期 間		令和 7 年 2 月 13 日(木)～ 2 月 17 日(月)
入 学 手 続 日		令和 7 年 3 月 7 日(金)

※ 推薦入学者選抜に不合格となった者は、**改めて出願書類等を提出することなく**、一般入学者選抜、又は帰国子女特別選抜の志願者となります（4 ページ、6 ページ及び 7 ページ参照）。

※ 天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

目 次

○令和 7 年度 入学者募集要項	1 ～19 ページ
○入学案内等	20 ～28 ページ
○調査書の作成について	29 ページ

☆個人情報の取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び選抜に用いた成績・評価等入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導及び課外活動
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金の申請審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

令和7年度 入学者募集要項

1 募 集 人 員

学 科 名	募集人員	備 考
機 械 工 学 科	40名	「推薦入学者選抜」の募集人員は、各学科とも募集人員の50%程度とします。 「帰国子女特別選抜」の募集人員は、各学科とも若干名とします。
電 子 メ デ ィ ア 工 学 科	40名	
電 子 情 報 工 学 科	40名	
物 質 工 学 科	40名	
環 境 都 市 工 学 科	40名	

2 入学者の選抜方法

入学者選抜は、推薦入学者選抜、一般入学者選抜、帰国子女特別選抜によって行います。

推薦入学者選抜は、学力検査を免除し、面接、在籍中学校等の長からの推薦書及び調査書に基づき行います。

一般入学者選抜は、学力検査及び在籍中学校等の長からの調査書に基づき行います。

帰国子女特別選抜は、学力検査、面接及び在籍中学校等の長からの調査書に基づき行います。

3 出 願 資 格

〔推薦入学者選抜〕

推薦入学者選抜に出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者在籍中学校等の長の推薦を受けた者としてします。なお、推薦できる人数には制限はありません。

- (1) 令和7年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者、又は中等教育学校前期課程若しくは文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 人物が優れていて、志望学科に対して適性及び関心を有し、本校への入学意志が強固な者（合格した場合は必ず入学するものとし、不合格となった場合には、学力検査を受験し、その結果合格した場合は必ず入学する意志のある者）
- (3) 中学校等第2学年と第3学年の国語、社会、数学、理科、英語の5教科の評定値の合計が、5段階評価で42以上であること。

ただし、10段階評価の場合は、次の換算表により10段階評価の評定値を5段階の数値に置き換えた上で、5段階の合計値を算出してください。

10段階	10・9	8・7	6・5	4・3	2・1
5段階	5	4	3	2	1

なお、5段階、10段階以外の方式による評価の場合には、本校学生課教務係へお問い合わせください。

〔一般入学者選抜〕

一般入学者選抜に出願できる者は、次の各号の一つに該当する者としてします。

- (1) 中学校又は義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和四十一年文部省令三十六号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (7) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

〔帰国子女特別選抜〕

帰国子女特別選抜に出願できる者は、日本国籍を有する者及び永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算2年以上の者で帰国子女特別選抜を実施する年度の前年度の4月以降の帰国者）で、次の各号の一つに該当する者としてします。

- (1) 中学校又は義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

帰国子女特別選抜に出願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和6年11月22日（金）までに本校学生課教務係へ連絡してください。事前連絡のない出願はできません。なお推薦入学者選抜の出願資格を満たしていれば、推薦入学者選抜に出願することも可能です。

※試験の実施に関して、不測の事態（災害・事故等）が生じた場合、選抜方法が変更となる場合がございます。その場合には本校ホームページに情報を掲載します。

出願の流れ

出願は出願サイトにて行う「Web出願登録」と写真票等の必要書類を在籍中学校等経由で本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。どちらか一方のみでは出願となりませんのでご注意ください。出願の流れは以下のとおりです。



推薦入学者選抜について

1 出願期間

Web出願登録 令和6年12月9日（月）から令和7年1月7日（火）まで

出願書類提出 令和7年1月6日（月）から1月7日（火）15時まで（1月7日（火）必着）

2 出願手続

出願手続（Web出願登録及び出願書類）については以下の説明のほか、3ページ「出願の流れ」、17ページ「共通事項」も参照してください。

(1) Web出願登録

志願者はパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを用いて、本校ホームページから出願サイトへアクセスし、志願者情報の入力、検定料（16,500円）の納付等を行ってください。

＜出願における注意事項＞

・入試区分について

推薦入学者選抜に不合格となった者は、改めて出願書類等を提出することなく、一般入学者選抜又は帰国子女特別選抜の志願者となります。予め、希望する選抜方法に合わせて、「**推薦入学者選抜（学力検査・一般）**」もしくは「**推薦入学者選抜（学力検査・帰国子女）**」のいずれかを選択してください。

・志望学科について

推薦入学者選抜（学力検査・一般）

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

推薦入学者選抜は、第1志望のみで行いますが、推薦入学者選抜に不合格となったときは、一般入学者選抜の志願者となりますので、推薦入学者選抜の志願者も第2志望、第3志望の学科がある場合は選択してください。第1志望だけしか選択されていない場合は、第1志望のみとして取り扱います。また、第2志望までしか選択されていない場合は、第2志望までを考慮した選抜方法になります。出願後に志望学科の変更はできません。

推薦入学者選抜（学力検査・帰国子女）

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

推薦入学者選抜、帰国子女特別選抜ともに第1志望のみで行います。出願後に志望学科の変更はできません。

・受験地について

推薦入学者選抜（学力検査・一般）

推薦入学者選抜の受験地は本校検査場（群馬高専）です。また、一般入学者選抜における学力検査受験地を本校検査場（群馬高専）、または最寄り地等から選択してください。最寄り地等については8～9ページの「一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について」を参照してください。また、最寄り地等を選択した場合は、機構ホームページの「会場一覧」を参照して受験票、写真票に事前相談で受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を手書きしてください。

推薦入学者選抜（学力検査・帰国子女）

推薦入学者選抜の受験地は本校検査場（群馬高専）です。また、帰国子女特別選抜の受験地も本校検査場（群馬高専）です。

(2) 出願書類提出

郵送または持参で受け付けます。

<郵送の場合>

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒により簡易書留郵便で下記宛てに送付してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（〇名）」と朱書し、簡易書留郵便で願書受付期間内に送付（令和7年1月7日（火）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

<持参の場合>

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等の担当教職員は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒に入れ、本校学生課教務係へ提出してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和7年1月6日（月）から1月7日（火）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：群馬工業高等専門学校 管理棟1階 学生課教務係

3 出願書類一覧

提出書類等	摘 要
写真票	出願サイトのマイページから出力した写真票を印刷し、提出してください。写真（白黒・カラーは問いません）は出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。また、検査当日に眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。
調査書	調査書は群馬県教育委員会の定める様式、埼玉県教育委員会の定める様式もしくは本校所定の様式を用い、在籍中学校等の長が作成・厳封してください。本校所定様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。 記載方法の詳細は「調査書の作成について」を参照してください。
入学確約書	推薦入学者選抜を受験する志願者は、入学確約書（単願用）を提出してください。入学確約書（単願用）の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。

提出書類等	摘 要
推薦書	本校所定の用紙を用い、在籍中学校等の長が作成・厳封してください。推薦書の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

注意事項

- (1) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、いかなる理由があっても変更は認めません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

4 選抜の方法

在籍中学校等の長から提出された推薦書、調査書及び面接の結果を総合して判定します。

調査書及び面接の結果を点数化し、うち調査書の内申評価点（中学校等第2学年及び第3学年の国語、社会、数学、理科、英語の5教科の評定値（5点法）の合計に1.8を乗じたもの）を90点、面接を15点とします（105点満点）。

5 面接の日時及び検査場

期 日	集 合 時 間	検 査 場
令和7年1月16日（木） （予備日：1月17日（金））	後日、本校ホームページに掲載いたします。	群馬工業高等専門学校

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

面接当日の注意事項

- (1) 受験票（各自で出願サイトのマイページより印刷）、黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び鉛筆削りを持参してください。
- (2) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。

6 選抜結果の通知等

選抜結果は、令和7年1月21日（火）、在籍中学校等の長宛てに郵送にて通知します（各在籍中学校等への配達日は令和7年1月22日（水）以降となります）。

推薦入学者選抜に不合格となった者は、一般入学者選抜の単願（出願時に帰国子女特別選抜を希望した場合は帰国子女特別選抜）での志願者となりますが、この場合は出願書類の再提出及び検定料の再納付の必要はありません。

7 追試験（推薦）の実施について

追試験（推薦）の対象者

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、1月16日（木）又は1月17日（金）の面接を受験できない者。

※(1)に示す1月16日（木）又は1月17日（金）の面接を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

- (2) その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、1月16日（木）又は1月17日（金）の面接試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校校長がその申請を認めた者。

追試験（推薦）受験申請の手続

追試験（推薦）の受験を希望する者は、面接当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに在籍中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（推薦）に関する手続等の詳細については、追試験（推薦）を受験する生徒及び在籍中学校等へ連絡します。

追試験（推薦）の日時及び検査場

面 接 期 日	集 合 時 間	検 査 場
令和7年1月31日（金）	後日通知します。	群馬工業高等専門学校

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

追試験（推薦）結果の通知等

追試験（推薦）の選抜結果は、令和7年2月4日（火）、在籍中学校等の長宛てに郵送にて通知します（各在籍中学校等への配達は令和7年2月5日（水）以降となります）。

追試験（推薦）に不合格となった者は、一般入学者選抜の単願での志願者となりますが、この場合は出願書類の再提出及び検定料の再納付の必要はありません。

一般入学者選抜について

1 出願期間

Web出願登録 令和7年1月8日（水）から1月22日（水）まで

出願書類提出 令和7年1月21日（火）から1月22日（水）15時まで（1月22日（水）必着）

2 出願手続

出願手続（Web出願登録及び出願書類）については以下の説明のほか、3ページ「出願の流れ」、17ページ「共通事項」も参照してください。

(1) Web出願登録

志願者はパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを用いて、本校ホームページから出願サイトへアクセスし、志願者情報の入力、検定料（16,500円）の納付等を行ってください。

<出願における注意事項>

・志望学科について

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

一般入学者選抜では、選抜の結果によっては、第2志望又は第3志望の学科に合格することがありますので、第2志望、第3志望の学科も選択してください。第1志望だけしか選択されていない場合は、第1志望のみとして取り扱います。また、第2志望までしか選択されていない場合は、第2志望までを考慮した選抜方法になります。出願後に志望学科の変更はできません。

・単願、併願について

単願：出願時に入学確約書（単願用）を提出する

併願：出願時には入学確約書（併願用）を提出せず、入学手続きの時に提出する

のいずれかを選択してください。単願の受験者から募集人員程度までの合格者を選抜します。本校を第一志望とする志願者は、必ず単願を選択してください。単願の場合、入学辞退のできない他校の受験はできません。併願の受験者からも若干名の合格者を選抜します。

・受験地について

一般入学者選抜における学力検査受験地を本校検査場（群馬高専）、または最寄り地等から選択してください。最寄り地等については以下の「一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について」を参照してください。また、最寄り地等を選択した場合は、機構ホームページの「会場一覧」を参照して受験票、写真票に事前相談で受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を手書きしてください。

・一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、一般入学者選抜において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。志願者は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する志願者

は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：群馬工業高等専門学校学生課教務係

電 話：027-254-9060

相談期間：推薦入学者選抜に出願する場合 令和6年11月1日（金）～令和7年1月6日（月）

一般・帰国子女特別選抜に出願する場合 令和6年11月1日（金）～

令和7年1月21日（火）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）



： <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.htm>

各会場の受け入れ状況を随時更新いたします。

※「推薦入学者選抜」、「帰国子女特別選抜」は本制度の対象外です。

機構ホームページ ※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

(2) 出願書類提出

郵送または持参で受け付けます。

＜郵送の場合＞

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し、写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒により簡易書留郵便で下記宛てに送付してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（〇名）」と朱書し、簡易書留郵便で願書受付期間内に送付（令和7年1月22日（水）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 群馬工業高等専門学校 学生課教務係

＜持参の場合＞

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等の担当教職員は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒に入れ、本校学生課教務係へ提出してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和7年1月21日（火）から1月22日（水）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：群馬工業高等専門学校 管理棟1階 学生課教務係

3 出願書類一覧

提出書類等	摘 要
写真票	出願サイトのマイページから出力した写真票を印刷し、提出してください。写真（白黒・カラーは問いません）は出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。また、検査当日に眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。
調査書	調査書は群馬県教育委員会の定める様式、埼玉県教育委員会の定める様式もしくは本校所定の様式を用い、在籍中学校等の長が作成・厳封してください。本校所定様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。 記載方法の詳細は「調査書の作成について」を参照してください。
入学確約書	単願の志願者は、入学確約書（単願用）を提出してください。入学確約書（単願用）の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。 併願の志願者は、出願時には入学確約書の提出は不要です。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

注意事項

- (1) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、いかなる理由があっても変更は認めません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

4 選抜の方法

学力検査及び在籍中学校等の長から提出された調査書の結果を総合して判定し、単願の受験者から募集人員程度までの合格者を選抜します。併願の受験者からも若干名の合格者を選抜します。なお、学力検査は、全教科マークシート方式によります。

学力検査及び調査書を点数化し、うち学力検査の得点を630点、調査書の内申評価点（中学校等第3学年の9教科の評定値（5点法）にそれぞれの加重係数（数学5、理科5、英語4、国語3、技術家庭3、社会2、保健体育1、美術1、音楽1）を乗じて得た点数の合計）を125点とします（755点満点）。

学力検査の配点は、次のとおりです。

科目	国語	社会	数学	理科	英語	合計
配点	100点	100点	100点×1.5	100点×1.5	100点×1.3	630点満点

5 学力検査（一般入学者選抜）の日時及び検査場

期 日	教科名	時 間	検 査 場
令和7年2月9日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校 2 最寄り地等 8～9ページ参照
	集 合	9：00	
	理 科	9：30～10：20	
	英 語	10：40～11：30	
	数 学	11：50～12：40	
	国 語	13：30～14：20	
	社 会	14：40～15：30	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

学力検査当日の注意事項

- (1) 受験票（各自で出願サイトのマイページより印刷）、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、鉛筆削りを持参してください。
※シャープペンシルはメモ書きや計算に使用し、解答用紙にマークする際は、黒鉛筆（HB）を使用してください。なお、鉛筆削りについては、検査時間外のみ使用可能とします。
- (2) 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛けを含む）。
- (3) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って9時までに検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。
- (4) 昼食を持参してください。

6 追加合格

募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を行うことがあります。

7 追試験（一般）の実施について

追試験（一般）の対象者

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、2月9日（日）の学力検査を受験できない者。
※(1)に示す2月9日（日）の学力検査を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。
- (2) その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、2月9日（日）の学力検査を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校校長がその申請を認めた者。

追試験（一般）受験申請の手続

追試験（一般）の受験を希望する者は、2月9日（日）当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに在籍中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（一般）に関する手続等の詳細については、追試験（一般）を受験する生徒及び在籍中学校等へ連絡します。

追試験（一般）の日時及び検査場

期 日	教科名	時 間	検 査 場
令和7年2月23日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校 2 最寄り地等 8～9ページ参照
	集 合	9：00	
	理 科	9：30～10：20	
	英 語	10：40～11：30	
	数 学	11：50～12：40	
	国 語	13：30～14：20	
	社 会	14：40～15：30	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

8 追試験（一般） 合格者の発表

合格者の受験番号を、令和7年2月26日（水）10時に本校内（18ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、令和7年2月28日（金）までに本校学生課において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続きに関する書類を受領してください。

帰国子女特別選抜について

1 出願期間

Web出願登録 令和7年1月8日（水）から1月22日（水）まで

出願書類提出 令和7年1月21日（火）から1月22日（水）15時まで（1月22日（水）必着）

帰国子女特別選抜の志願者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和6年11月22日（金）までに本校学生課教務係へ連絡してください。事前連絡のない出願はできません。

2 出願手続

出願手続（Web出願登録及び出願書類）については以下の説明のほか、3ページ「出願の流れ」、17ページ「共通事項」も参照してください。

(1) Web出願登録

志願者はパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを用いて、本校ホームページから出願サイトへアクセスし、志願者情報の入力、検定料（16,500円）の納付等を行ってください。

＜出願における注意事項＞

・志望学科の選択について

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

帰国子女特別選抜は第1志望のみで行います。出願後に志望学科の変更はできません。

・単願、併願について

帰国子女特別選抜は単願のみとなりますので、出願時に入学確約書（単願用）を提出してください。なお、単願の場合、入学辞退のできない他校の受験はできません。

・受験地の選択について

帰国子女特別選抜の受験地は本校検査場（群馬高専）です。

(2) 出願書類提出

郵送または持参で受け付けます。

＜郵送の場合＞

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒により簡易書留郵便で下記宛てに送付してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（〇名）」と朱書し、簡易書留郵便で願書受付期間内に送付（令和7年1月22日（水）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

<持参の場合>

志願者は、出願サイトのマイページから出力される宛名票を角2封筒に貼付し写真票と共に在籍中学校等へ提出してください。在籍中学校等の担当教職員は他の出願書類と共に、宛名票を貼付した角2封筒に入れ、本校学生課教務係へ提出してください。在籍中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに宛名票を貼付した角2封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和7年1月21日（火）から1月22日（水）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：群馬工業高等専門学校 管理棟1階 学生課教務係

3 出願書類一覧

提出書類等	摘 要
写真票	出願サイトのマイページから出力した写真票を印刷し、提出してください。写真（白黒・カラーは問いません）は出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。また、検査当日に眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。
調査書	調査書は群馬県教育委員会の定める様式、埼玉県教育委員会の定める様式もしくは本校所定の様式を用い、在籍中学校等の長が作成・厳封してください。本校所定様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。 記載方法の詳細は「調査書の作成について」を参照してください。
入学確約書	帰国子女特別選抜を受験する志願者は、入学確約書（単願用）を提出してください。入学確約書（単願用）の様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4縦で印刷したものを使用してください。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

注意事項

- (1) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、いかなる理由があっても変更は認めません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

4 選抜の方法

学力検査、面接、及び在籍中学校等の長から提出された調査書の結果を総合して判定します。なお、学力検査は、全教科マークシート方式によります。

学力検査、調査書及び面接の結果を点数化し、うち、学力検査の得点を530点、調査書の内申評価点（中学校等第3学年の9教科の評定値（5点法）にそれぞれの加重係数（数学5，理科5，英語4，国語3，技術家庭3，社会2，保健体育1，美術1，音楽1）を乗じて得た点数の合計）を125点、面接を15点とします（670点満点）。

学力検査の配点は、次のとおりです。

科目	国語	数学	理科	英語	合計
配点	100点	100点×1.5	100点×1.5	100点×1.3	530点満点

5 学力検査（帰国子女特別選抜）の日時及び検査場

期 日	教科名	時 間	検 査 場
令和7年2月9日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集 合	9：00	
	理 科	9：30～10：20	
	英 語	10：40～11：30	
	数 学	11：50～12：40	
	国 語	13：30～14：20	
	面 接	14：40～15：30	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

学力検査当日の注意事項

- (1) 受験票（各自で願サイトのマイページより印刷）、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、鉛筆削りを持参してください。
※シャープペンシルはメモ書きや計算に使用し、解答用紙にマークする際は、黒鉛筆（HB）を使用してください。なお、鉛筆削りについては、検査時間外のみ使用可能とします。
- (2) 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛けを含む）。
- (3) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って9時までに検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。
- (4) 昼食を持参してください。

6 追試験（帰国子女特別）の実施について

追試験（帰国子女特別）の対象者

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、2月9日（日）の学力検査及び面接を受験できない者。
※(1)に示す2月9日（日）の学力検査及び面接を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。
- (2) その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、2月9日（日）の学力検査及び面接を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校校長がその申請を認めた者。

追試験（帰国子女特別）受験申請の手続

追試験（帰国子女特別）の受験を希望する者は、2月9日（日）当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに在籍中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（帰国子女特別）に関する手続等の詳細については、追試験（帰国子女特別）を受験する生徒及び在籍中学校等へ連絡します。

追試験（帰国子女特別）の日時及び検査場

期 日	教科名	時 間	検 査 場
令和7年2月23日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集 合	9：00	
	理 科	9：30～10：20	
	英 語	10：40～11：30	
	数 学	11：50～12：40	
	国 語	13：30～14：20	
	面 接	14：40～15：30	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

7 追試験（帰国子女特別選抜） 合格者の発表

合格者の受験番号を、令和7年2月26日（水）10時に本校内（18ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、令和7年2月28日（金）までに本校学生課において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続きに関する書類を受領してください。

共通事項

1 検定料の返還請求について

次の場合は、納付された検定料の返還を請求することができますので、本校学生課教務係までご連絡ください。

- ・ Web出願登録にて検定料を納付したが、出願書類提出を行わなかった場合
- ・ 検定料を重複して納付した場合

2 災害により被災したことによる入学志願者の検定料免除措置について

本校に入学を志願する者で、令和6年2月12日（日）から令和7年2月8日（土）までの間において、次のいずれかに当てはまる場合、申請することにより検定料を免除することがあります。該当する志願者は本校学生課教務係へ申し出てください。

- 一 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- 二 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

3 障害等を理由に合理的配慮の提供を希望する者について

入学者選抜において、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願書類提出期限の1か月前（推薦入学者選抜では令和6年12月9日（月）、一般入学者・帰国子女特別選抜では令和6年12月23日（月））を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍中学校等の関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。また入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提供を求める場合があります。

4 合格発表について（一般入学者選抜及び帰国子女特別選抜の追試験を除く）

合格者の受験番号を、令和7年2月13日（木）10時に本校内（18ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、次のいずれかの日時及び場所において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

書 類 交 付 日時及び場所	令和7年2月13日（木）10時から15時まで	本校学生ホール
	令和7年2月14日（金）10時から15時まで	本校学生課
	令和7年2月17日（月）10時から15時まで	本校学生課

5 入学手続について

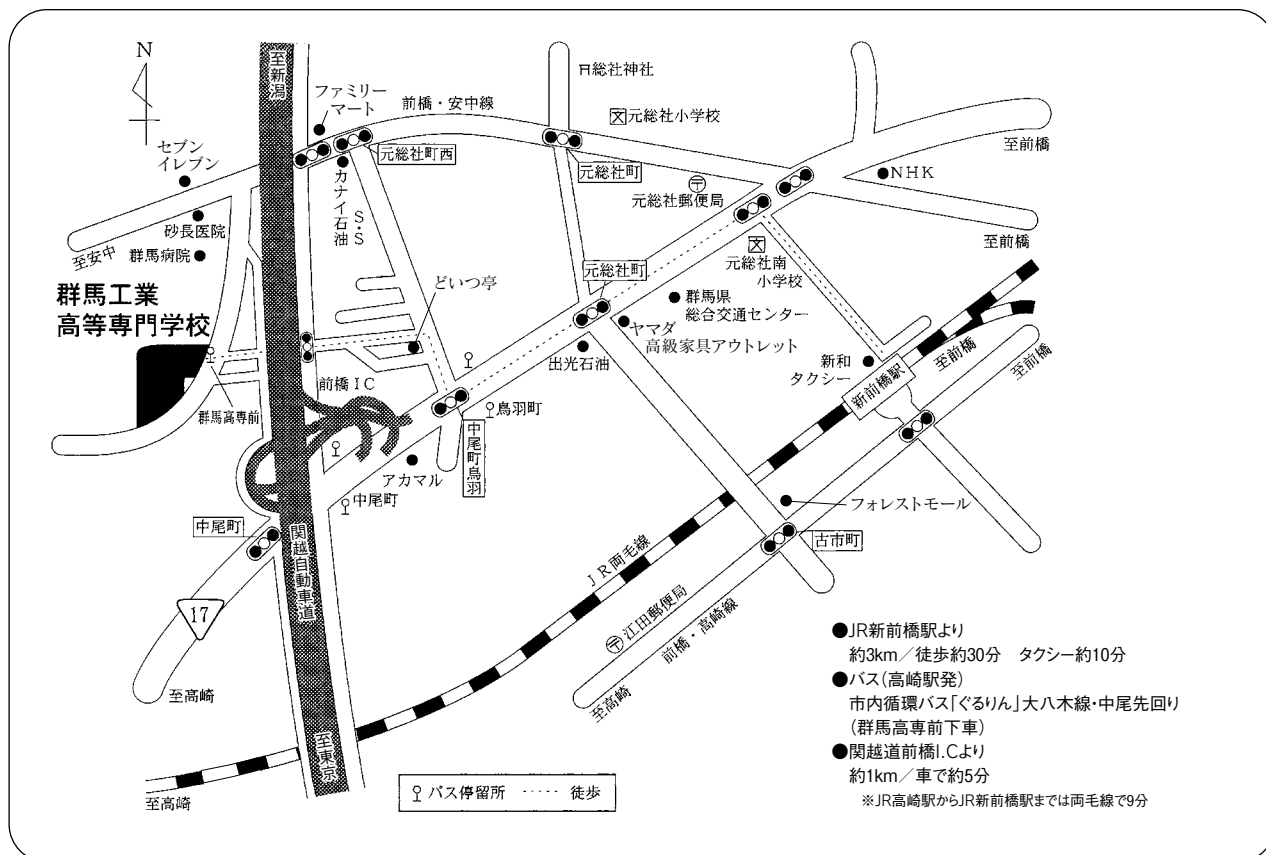
令和7年3月7日（金）に入学手続を行ってください。手続をしない場合は、入学を認めません。一般入学者選抜で併願を選択した合格者は、入学手続の時に「入学確約書（併願用）」（本校ホームページよりダウンロードし、A4縦に印刷したもの）を必ず提出してください。入学手続の詳細は、合格発表後に配布する入学手続に関する書類をご確認ください。

◎ 検査場案内図

【本校検査場（群馬工業高等専門学校）】

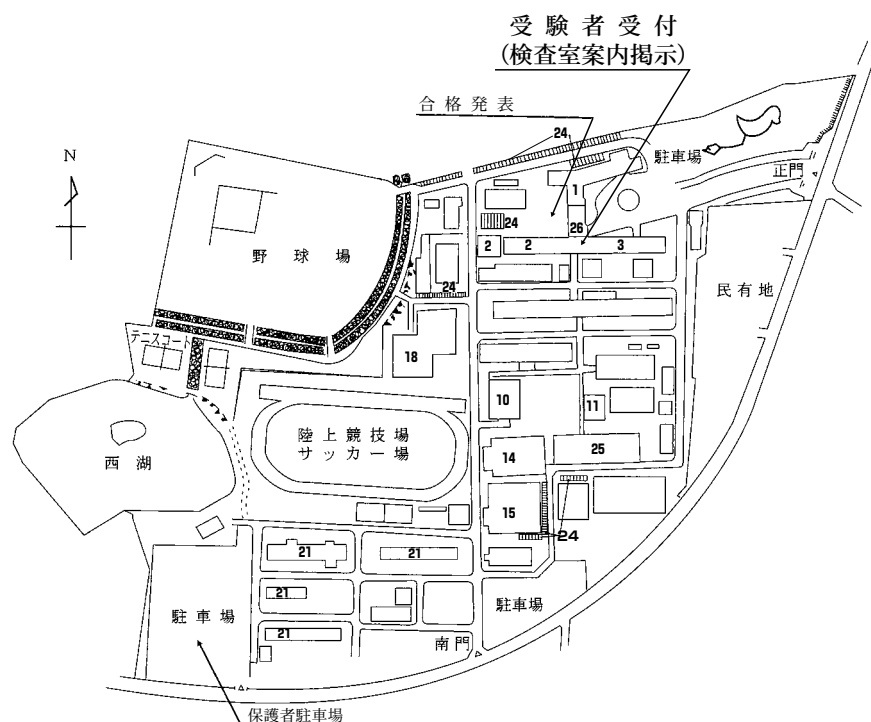
〒371-8530

群馬県前橋市鳥羽町580番地



校内配置図

- 1 管 理 棟
- 2 第1・第2講義棟
- 3 環境都市工学科棟
- 10 群嶺会館(学生食堂)
- 11 専攻科S-103教室
- 14 第2体育館
- 15 第1体育館
- 18 図 書 館
- 21 学 生 寮
- 24 駐 輪 場
- 25 電子情報工学科棟
- 26 学 生 課



入 学 案 内

1 本校の教育理念

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。

2 教育目標

最も得意とする工学の知識と異なる分野の工学の知識を融合することにより、専門分野を広い視野で捉えることができ、将来、より高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者を養成する。

3 アドミッション・ポリシー

3-1 求める学生像

本校では、本校の教育理念及び学習・教育目標、さらには、学科の教育目的を踏まえ、総合的な基礎学力を十分に有する、次のような人の入学を求めている。

- (1) 科学技術者になりたいという志をもっている人
- (2) 人類の繁栄と地球環境を守るための科学技術に関心のある人
- (3) 国際的な場で活躍したいという希望をもっている人
- (4) 工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人
- (5) 数学や理科などの自然科学系科目が得意で興味のある人

3-2 入学者選抜の基本方針

(1) 推薦入学者選抜

出身中学校等から推薦された志願者のうち、入学の意志が強固で、学修に必要な基礎学力を有し、適性及び関心をもつ者を調査書及び面接により選抜する。

(2) 一般入学者選抜

入学を志望し、学修に必要な基礎学力を十分に有する者を調査書及び学力検査により選抜する。

(3) 編入学者選抜

入学を志望し、編入学後の学修に必要な基礎学力を有し、適性をもつ者を調査書、学力検査及び面接により選抜する。

4 本校の特色

本校は、国立高等専門学校第1期校として昭和37年4月に開校し、5年間の一貫教育により、これまでに約9,200名の卒業生を社会に送り出してきました。平成3年7月には学校教育法が改正され、高等専門学校を卒業した者は「準学士」と称することができるようになりました。

教育カリキュラムは、一般科目と専門科目を系統的にバランスよく学ぶため、学年が上がるにつれて専門科目の割合が増えていくように設計されています。技術者として社会で活躍するための基礎・教養となる一般科目にも力を入れ、専門科目においては、工学の理論とともに実験・実習などの実技科目を重視しています。1年次及び2年次は各学科の学生を均等に振り分けた学級（混合学級）を採用し、全学科共通の科目は混合学級で、専門科目は専門学科で授業を実施しています。また、人間形成という観点から、教員と学生の緊密な触れ合いを図り、学習面のみならず生活面にも行き届いた指導を行い、学生の教育に万全を期しています。さらに、正規の授業の他に課外活動を重視し、たくましい体力と強靱な精神力を育成することに力を入れています。

また、全ての学科で情報処理が学べるカリキュラムとなっています。近年の情報通信技術（ICT）の発展に伴い、従来から取り組んでいるプログラミング教育に加え、情報モラルやセキュリティ教育も取り入れており、豊かな情報リテラシーを有する人材の育成を行っています。さらに各学科の特色を活かした情報教育へと発展させることにより、それぞれの分野で必要とされる情報処理能力を修得することができます。校内には高速・大容量のネットワーク環境が整備されていることに加え、平成31年3月には演習室のPCを一斉更新し、ICT環境の充実が図られています。

さらに、国際交流の観点から、これまでに外国人留学生（定員外）131名を受け入れてきました。今後も毎年数名の留学生を受け入れる予定です。また、国際交流室を設け、学生が国際的に広い視野をもてるように、海外の大学との教育研究交流を推進しています。希望者を対象に、語学研修を春季・夏季休業期間中に実施し、海外で活動する機会を提供しています。

本校卒業後更に勉学を希望する学生のために、平成7年度から2年制の専攻科を設置しました。専攻科では、主に高専卒業生を対象として、今日の先端科学技術産業が必要とする人材を育成することを目指しています。4、5年次の単位と専攻科2年間での所定の単位を修得することで、大学と同様に「学士」の学位が取得可能となります。なお、本校の専攻科には、機械工学、電子メディア工学及び電子情報工学を基礎とする生産システム工学専攻と、物質工学及び環境都市工学を基礎とする環境工学専攻の2専攻があります。専攻科修了後には直接大学院へ進学することもできます。

この専攻科以外にも高専卒業生には、国公立大学3年次への編入学の道が開けています。本校では、近年、大学3年次編入者や専攻科への進学者が多い状況が続いています。

5 本校の学生定員

(1) 学 科

学 科	学 級 数	入 学 定 員	修 業 年 限	総 定 員
機 械 工 学 科	1	40名	5 年	200名
電子メディア工学科	1	40名	5 年	200名
電子情報工学科	1	40名	5 年	200名
物 質 工 学 科	1	40名	5 年	200名
環 境 都 市 工 学 科	1	40名	5 年	200名
計	5	200名		1,000名

(2) 専攻科

専 攻	学 級 数	入 学 定 員	修 業 年 限	総 定 員
生産システム工学専攻	1	12名	2 年	24名
環 境 工 学 専 攻	1	8 名	2 年	16名
計	2	20名		40名

6 教育課程

授業科目の詳細は一覧表（22ページ参照）のとおりです。低学年では一般科目が多く、高学年に進むにつれて専門科目が増えていきます。5年次には卒業研究が課せられています。なお、次表（22ページ参照）はあくまで参考であり、授業科目の改定が行われる場合もあります。

太字：1～3年生の受講科目
細字：4・5年生の受講科目

※材料化学コースのみ選択可能
※※生物工学コースのみ選択可能

7 学習目標

本校の目指す技術者像を達成するための学習目標は次のとおりです。

- A. 地球的規模での人、社会、環境について倫理・教養の基本を身に付ける。
 - 1. 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。
 - 2. 工学や技術の潜在的危険性を理解する。
- B. 技術的問題解決のための幅広い工学の基本的知識を身に付ける。
 - 1. 工学の基礎となる自然科学の科目を理解する。
 - 2. 基礎工学科目の学習を通して、工学の基本を身に付ける。
 - 3. コンピュータリテラシーの基礎を学習し、それを簡単な工学的問題に応用できる。
- C. 技術的問題解決のための専門分野の基本的知識を身に付ける。

各学科における専門科目を学習することにより、技術的課題を理解し対応できる。
- D. 技術的課題を分析し、解決するためのシステムをデザインする基礎能力を身に付ける。
 - 1. 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を用いて、現実の技術的課題を理解し、それを解決するための工夫ができる。
 - 2. 技術的問題解決のために必要な情報を収集し、解析するための基本となる情報処理技術及び工学的ツールを活用できる。
 - 3. 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的に学習できる能力を身に付ける。
 - 4. 設定された目標に対し、互いに連携を図りながら目標達成に向けた行動ができる。
- E. コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付ける。
 - 1. 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる。
 - 2. 異なった歴史や文化を持った人々の考えを理解できる。
 - 3. 英語の基礎的な文章を理解し、また英語で簡単な内容を伝えることができる。

8 学科紹介

〔機械工学科〕

機械工学は、自動車、重工、ロボットなどをはじめ様々な産業分野の基礎学問をなし、近年では、環境・化学・情報・電子・医学など多くの分野と融合して著しく応用分野が拡大しています。機械工学の理論や考え方は、今日の社会問題とも言えるエネルギー供給やCO₂による地球温暖化問題など人類が抱える難題を解決するための基盤を形成していると言っても言い過ぎではないでしょう。

機械工学は、自動車や航空機などエネルギーを用いて我々の生活を便利にする機械装置を設計すること、また、それらの製品を作り出すため、ロボットなどの機械の設計、製造方法の研究、機械を構成する材料の開発など、エネルギーの利用に関することを扱います。

本校の機械工学科では、工学のあらゆる分野で幅広く活躍できるように、力学などの基礎科目に重点をおき、さらに、コンピュータ教育も重視したカリキュラムを編成し、創造力が豊かで独創的発想ができるとともに、実践的な行動力のある技術者の養成を目指しています。

機械工学科の卒業生は、重工業、自動車工業、工作機械、精密機械、金属等のいわゆる機械系の会社に就職できることはもちろんですが、電気、化学、情報・土木等の会社からも、多くの求人があります。卒業生はこれらの会社において、研究、開発、設計、生産技術等の各分野で幅広く活躍しています。

〔電子メディア工学科〕

電子メディア工学科は、電気工学科に由来を持ち、現代社会に合うように教育内容を刷新した学科です。「メディア」という言葉には「媒介」、「媒体」等の意味があります。電子を媒介・媒体とした広い

科学分野に「エレクトロニクス」の理論や技術を駆使した工学が「電子メディア工学」です。この広い学問分野のうち、本学科では特に情報通信、エネルギー変換と、これらを支える電子材料の3分野を教育・研究の中心に据えています。入学した学生は、エレクトロニクスの基礎を体系化された形で理解し、卒業時には広く電子に関連する工学分野（特に上記3分野）について、更に深く学び研究・開発を行うことが可能な基礎能力を獲得できます。

現在世界は政治・経済だけでなく技術分野においても激動の時代を迎えています。この厳しい時代を卒業生たちが乗り切っていくため、本学科では「社会の変革をリードできる技術者を育てる」ことを目指しています。将来異分野にもチャレンジできる創造力を養うために、特に基礎学力に重点を置いた教育を推し進めています。このため低学年から数学・物理をはじめとした基礎学力の確実な修得を目指して重点的に演習の時間を設けており、また、専門科目についても適宜実験を行うことで、知識の確実な定着を図っています。

卒業生の進路は、おおよそ、8割が専攻科・大学編入学などの進学、2割が就職となっています。進学先は電気・電子・通信系にとどまらず、情報や数学、物理、化学、生物、経済等、非常に多彩な分野となっており、これも当学科の大きな特色の一つです。進学した学生の多くはさらに大学院へ進学し、さらに高度な研究を目指しています。一方求人企業の職種も電気・電子・通信・情報・医薬・食品・自動車・鉄道・航空等、これも極めて多岐にわたっています。

〔電子情報工学科〕

電子情報工学科は、「コンピュータと未来を拓く」をキャッチフレーズに、ハードウェア（半導体技術、電子工学、電気・電子回路、デジタル回路、情報通信など）とソフトウェア（プログラミング、アルゴリズム、オペレーティング・システムなど）の両方に精通し、「バランス感覚」を持ったエンジニアを養成することを目標にしている、ものづくりの方法と関連分野を総合的に学ぶ学科です。この「バランス感覚」とは、ハードウェア・ソフトウェアの広い見地から、設定した問題を解決する方法を判断する感覚であり、一方の知識だけでは優れた手腕を発揮できるエンジニアにはなりません。

電子情報工学科の専門科目については、講義では理論・設計方針を中心に、実験・実習では学生自ら回路・プログラムを設計・実装し動作させるものを多く用意しています。自ら考え、手を動かすことで、問題解決能力・独自性・創造性を養うことを目的としています。

求人は、電子・通信・コンピュータ・情報処理などの製造・開発・サービス業をはじめ、近年急速に情報系エンジニアが必要とされている鉄道・電力等のインフラ関連、医療機器分野、食品・ケミカル関係まで幅広い業種があります。時代の第一線で活躍できる情報系エンジニア・研究者を養成し、社会に送り出すのが電子情報工学科です。

電子情報工学科の卒業生の多くが専攻科又は大学に編入学し（ほぼ毎年70%以上）、さらにその半数以上が大学院に進学しており、企業の第一線で活躍しています。

〔物質工学科〕

物質工学は、化学や生物学を基本に、物質の構造や性質の解明を行い、これを基礎として、今までの物質に新しい性能を付け加えたり、日常生活に役立つような新しい材料を創り出したりすることを目的とする学問分野です。また、太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した発電・蓄電デバイスに関する材料開発も物質工学の最近の話題です。具体的には、繊維、プラスチック、医薬品、化粧品、食品、セメント、電子材料、ニューセラミックスなど、私たちの身の回りの多くの製品が物質工学の対象となります。また、近年の生物工学の発展に伴い、多くの有用な物質が生物の力を借りて生産されるようになってきました。これらの製品を製造するための化学・生物プラントの設計や運転に関する基礎技術の開発も物質工学の大切な目的の一つです。そして、地球環境問題の解決、省資源・省エネルギー的工業技術の開発などを通して、私たちの生活を一層豊かにし大きく発展させることも重要な課題です。これらの課題に対応するため、物質工学科では4年生以上で材料化学コースと生物工学コースに分かれたカリキュラムを組んでいます。

現在、当学科卒業生の多く（８～９割）は進学の道を選び、化学や生物をさらに深く学ぶために本校の専攻科へ入学又は大学へ編入学しています。そして、進学した学生の半数以上はさらに大学院に進んでより高度な研究者を目指しています。一方、学科を卒業して社会に出る学生に対する求人も多くきています。それらは上記のような化学・生物に関連した企業が中心ですが、最近では、企業の多角化に伴い、機械・電気・情報処理関係の企業においても化学・生物系の技術者を必要とするようになり、この方面からの求人も多くなりました。これらの企業では、開発・研究・製造・調査・企画などに携わることになります。すでに各職場の第一線で活躍している人が数多くいます。

当学科では、自然との調和を保ちつつ人類の幸せを考える技術者を世の中に送り出すことを目的に、様々な問題を長期的視点に立って多面的にとらえ、自分の力で考えて解決していくことができるような人材を育てています。

〔環境都市工学科〕

環境都市工学科は、公共性が高く生活に重要な役割をなす社会基盤の計画・設計・施工・管理に関する専門知識と社会基盤に関わる防災・環境・まちづくりに関連した専門知識を学ぶ学科です。

社会基盤とは、電力やガスというエネルギー施設、高速道路、新幹線やリニア新幹線などの交通施設、水資源の活用と防災を目的とするダムや堤防、港湾や空港、上下水道などのことです。社会基盤を建設するための測量、計画、調査、設計及び施工は、コンピュータによる設計・製図とネットワークの利用による情報化施工に代表されるように急速な進歩を遂げつつあり、社会では高度の建設技術者を必要としています。この要求に応えるため当学科では、基礎的学力と高い応用能力、さらに最新の技術を身に付けた技術者を社会に送り出せるように教育課程を組み立てています。

卒業生の就職は、国土交通省・県庁・市役所などの官公庁及び建設会社・コンサルタント（設計会社）、鉄道、諸工業（鉄鋼・金属等）、メンテナンス、環境、ソフトウェア関係などの民間企業であり、これらの職場において計画・設計・施工・管理などの業務に従事し活躍しています。

当学科の卒業生には、「測量士補」の資格が与えられます（試験免除）。また、在学中に大学卒業レベルの「技術士第一次試験（技術士補）」に合格する学生が多くいます。さらに、所定の実務経験をつむことで「土木施工管理技士」「技術士」などの資格も受験し取得できます。

なお、当学科では、建築学の専門的な事柄（特にデザイン）については教えていません。

9 学校行事

学校行事としては、球技大会・社会見学旅行等があります。また、芸術鑑賞会及び体育祭と工華祭（学園祭）が隔年で開催されます。

10 課外活動

本校の学生は、入学と同時に学生会の会員になり、各種の課外活動に参加しています。学生会には、次のクラブがあります。

文化系クラブの発表の場は、校内や校外での発表会の他、関東信越地区文化発表会等があります。体育系クラブの参加する競技会は、関東信越地区高専体育大会や全国高専体育大会などがあります。

その他、高専相互や県内高校との親善試合も数多く行っています。

〈文化系クラブ〉吹奏楽部・文芸部・写真部・美術部・理科部・茶道部・SF研究部・電算部・演劇部・将棋部・ロボット研究会・コンクリートカヌー愛好会・エコノパワー愛好会・構造デザイン研究会・3Dデザイン研究会・クイズ研究会・無線通信愛好会

〈体育系クラブ〉陸上競技部・硬式野球部・サッカー部・バレーボール部・バスケットボール部・ソフトテニス部・卓球部・柔道部・剣道部・テニス部・バドミントン部・水泳部・自転車愛好会・ダンス愛好会・ラグビー愛好会

11 卒業後の進路

(1) 過去3年の大学等進学状況

・大学・専攻科進学状況：本科卒業生

大学等名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
群馬高専専攻科	36	37	40
奈良高専専攻科			1
北海道大学			2
室蘭工業大学	3	2	2
北見工業大学	1		1
帯広畜産大学			1
東北大学	2	2	
秋田大学	1		1
山形大学			
福島大学		1	
茨城大学		1	
筑波大学	3	1	1
宇都宮大学	1	2	3
群馬大学	10	7	10
埼玉大学	1		
千葉大学	4	1	2
東京医科歯科大学			1
東京大学		1	
東京農工大学	2	1	3
東京工業大学	1		3
東京海洋大学			1
横浜国立大学	1	1	
お茶の水女子大学	1		
電気通信大学			1
新潟大学	4	4	7
長岡技術科学大学	14	7	13
富山大学	1	1	1
金沢大学	4	2	3
福井大学		4	
山梨大学	5	3	3
信州大学	4	3	
岐阜大学	1		
静岡大学		1	1
名古屋大学		1	
名古屋工業大学		1	
豊橋技術科学大学	1	3	4
京都大学		1	1
奈良女子大学		1	1
島根大学		1	
岡山大学		1	
広島大学		1	1
香川大学			1
九州大学	1	1	2
九州工業大学		1	
琉球大学	1	2	
その他の大学等	6	6	8
計	109	102	119

・大学院進学状況：専攻科修了生

大学等名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
北海道大学大学院	1		1
東北大学大学院	9	5	5
筑波大学大学院	7	4	3
宇都宮大学大学院		1	
群馬大学大学院	1		
東京大学大学院	2	1	1
東京工業大学大学院	2	8	3
横浜国立大学大学院			1
総合研究大学院大学			1
新潟大学大学院			1

大学等名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
長岡技術科学大学大学院	1	2	1
名古屋大学大学院			1
京都大学大学院	2		1
大阪大学大学院	1		
奈良先端科学技術大学院大学	1	2	3
広島大学大学院	2		
九州大学大学院			1
北陸先端科学技術大学院大学		1	
その他の大学院等	1		1
計	30	24	24

(2) 過去3年の主な就職先

(就職率はほぼ100% 令和5年度求人数 3,165件)

《本科》
 (株)JALエンジニアリング
 (株)小松製作所
 (株)NIPPO
 (独)水資源機構
 (独)国立印刷局
 NTT東日本グループ
 DMG森精機(株)
 アイリスオーヤマ(株)
 いすゞエンジニアリング(株)
 KDDIエンジニアリング(株)
 旭化成(株)
 ニプロ(株)
 三菱電機(株)
 富士電機(株)
 スバル興産(株)
 積水化学工業(株)
 東芝ITサービス(株)
 アマゾンジャパン合同会社
 キヤノン(株)
 協和キリン(株)
 キリンビール(株)
 ソフトバンク(株)
 五洋建設(株)
 大成建設(株)
 信越化学工業(株)
 群馬県
 長野県
 日東電工(株)
 東亜石油(株)
 東日本旅客鉄道(株)

《専攻科》
 (株)TBSアクト
 (株)LIXIL
 旭化成(株)
 アイリスオーヤマ
 中外製薬工業(株)
 NTT東日本グループ会社<エンジニア>
 東京電力ホールディングス(株)
 凸版印刷(株)
 信越化学工業(株)
 関東電化工業(株)
 富士フイルム(株)
 横浜市

12 学費等

入学時に必要な学費は次のとおりです。

入 学 料	84,600円
授 業 料	117,300円 (年額234,600円のうち前期分)
学 生 会 費	5,000円 (年額)
教 科 書 代	約30,000円 (学科により異なります。)
教 材 費	約40,000円 (製図器具、作業着、白衣、体育着、その他)

※令和7年度から新入生全員にノート型パソコンの準備をお願いする予定です。

なお、ご準備いただくパソコンの性能等の情報は合格発表の際に配付する入学手続きに関する書類にてお知らせいたします。

※入学時・在学中に入学料・授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

注) 本校には学生の保護者を会員とする後援会があります。入会金20,000円、会費12,000円 (年額24,000円のうち前期分) となります。詳細は入学時にお知らせします。

13 奨学金制度

人物、学業ともに優秀であって、経済的理由により学費の支弁が困難と認められる者に対し、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

令和6年度入学生の第一種奨学金 (無利子) の貸与月額はそのとおりとなっています。

自 宅 通 学	21,000円
自 宅 外 通 学	22,500円

なお、4・5年生になると、月額20,000円程度増額される見込みです。

14 入学料及び授業料の免除等

(1) 入学料の免除

入学前1年以内において、本校に入学する者の学資を主として負担している者 (以下「学資負担者」という) が死亡し、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者、又はこれに準ずる場合であって校長が相当と認める者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

(2) 入学料の徴収猶予

経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、又は入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、当該入学に係る年度を越えない範囲で入学料の徴収を猶予することがあります。

(3) 授業料の免除

平成22年度から高等学校等就学支援金制度が導入されたことに伴い、1～3年生については、国から就学支援金 (年額118,800円) が支給されます。この就学支援金は、保護者の所得によってさらに加算される場合があります、結果的に全額免除と同じとなる場合があります。

(平成26年度入学生より、「所得制限」が導入され、一定以上の収入がある世帯 (年収910万円程度) では就学支援金が支給されないこととなりました。)

なお、4・5年生については、令和2年4月から始まった修学支援新制度による支援があります。この制度では、授業料減免と給付型奨学金 (原則返還が不要な奨学金) の2つの支援があります。

世帯の収入などの要件に合う学生が支援の対象となり、給付型奨学金の対象者は授業料の減免対象

者となります。

15 寮生活について

本校敷地内に、学生のための寄宿舍があり、約150名の寮生が共同生活をしています。

寮務主事や当直の教員が指導助言に当たり、学生支援系の職員が施設の管理等を担当しています。日常生活は寮長以下の寮生会役員を中心に、自主的に行われています。寮生活は、協調性や自立心を養う上で、極めて有意義です。なお、入寮希望者は選考の上、入寮を許可しています。

所在地	〒370-0001 群馬県高崎市中尾町235番地（本校敷地内）		
名称	鴻志寮（男子）・藤寮（女子）		
収容定員	177名（男子132名、女子45名）		
経費※1	寄 宿 料	2人部屋	…………… 700円（1か月）
		個 室	…………… 800円（ 〃 ）
	食 費（3食）	……………	約42,000円（ 〃 ）
	寮運営費	……………	7,500円（ 〃 ）

※1 寄宿料等の改定が行われた場合には、改定時からの新料金が適用されます。

調査書の作成について

在籍中学校等の長は、調査書の作成を行うに当たっては、所属教員をもって調査書作成委員会等を組織し、その審議を経て、特に厳正を期してください。

1 作成に当たっての注意

- (1) 丁寧に記入してください。なお、必要に応じてゴム印、パーソナルコンピュータ等を用いてもかまいません。
- (2) 記入する数字は、すべて算用数字を用いてください。ただし、所在地等住所については、漢数字を用いてもかまいません。
- (3) 誤記等の訂正をする際は、2本線を引いて訂正し、在籍中学校等の長の印（私印）を押印してください。
- (4) 提出する調査書は、原本を複写したものに、在籍中学校等の長の職印を押印したものでもかまいません。
- (5) 生徒氏名の表記は、提出書類間で齟齬のないよう配慮してください。なお、調査書とWeb出願が同一の志願者のものと判断できない場合、確認の連絡をさせていただくことがあります。
- (6) 出欠の記録で年間5日以上欠席がある場合は、欠席理由を記載してください。なお、欠席日数及び欠席理由は入学後の学生指導に活用いたします。欠席日数及び欠席理由は入学者選抜の合否判定に一切影響ありません。

2 様式

群馬県、埼玉県においては群馬県教育委員会の定める様式、又は埼玉県教育委員会の定める様式を用い作成してください。用紙は複写したもの、電子ファイルから印刷したものでもかまいません。

その他の地域の場合は、本校所定の様式を用いてください。本校所定の様式は本校ホームページよりダウンロードできます。なお、本校所定の様式に定める内容が記載されている県教育委員会等の様式を使用いただいてもかまいません。

3 記入上の注意

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録に準ずるものとします。また、不明な点については下記までお問い合わせください。

群馬工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 027-254-9060

FAX 027-254-9080

E-Mailアドレス kyoumu@gunma-ct.ac.jp

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地

独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 027-254-9060

FAX 027-254-9080

URL <https://www.gunma-ct.ac.jp/>